

小学校3・4年生

自ら机に向かう姿勢を育てる。

小学校3・4年生 こんな時期です



学習時間のめやす

45～60分

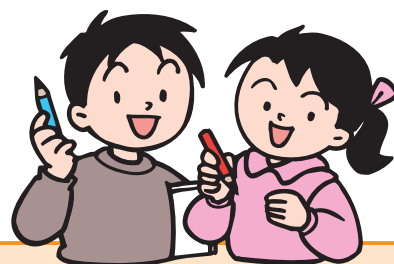
「育ち」や「学び」の特徴

- 自立心が芽生え、自分でやろうとすることが多くなりますが、まだ手助けは必要です。
- 好奇心が旺盛で、行動範囲も広がります。
- みんなと行動することを好むとともに、口答えや反抗が少しずつ見られるようになります。
- 家族の温かい助言や励ましの言葉が、やる気を起こさせます。

学習内容の特色(学校で)

- 「総合的な学習の時間」や「社会科」「理科」の学習が始まり、学習範囲も大きく広がります。
- 資料集や地図帳、辞典などを使い、調べ学習をすることが多くなります。
- 新しい漢字を、たくさん習います。(3・4年生とも200字ずつ)
- 算数では、分数や小数など、少しずつ抽象的な内容を学び始めます。
- 四則計算(+・-・×・÷)の基礎・基本を徹底して学びます。

家庭学習の つぼ! 3か条



その
1

宿題以外の学習にも挑戦! ～すすんで学ぶ好奇心を～

宿題以外の自主的な学習に積極的に取り組ませ、家庭学習のレベルアップを図っていくとよいでしょう。

そのためにも、身のまわりの自然や社会の出来事にも目が向くように働きかけましょう。

家事を分担し、進んで行うことも、りっぱな学習です。

その
2

テレビやゲームは、時間を決めて! ～家族の協力を～

テレビやゲームを夢中になって、時間がだらだらと長くなることがあります。

けじめをつけさせることが、自律心や学習への集中力を育てることにあります。根負けせずに、アドバイスし続けましょう。また、親のテレビを見る姿勢も大切です。

その
3

ほかの子どもと比べない! ～「がんばり」を本気でほめる～

学習に少しずつ個人差が出てくる頃です。友だちや兄弟・姉妹で成長を比べることは避けて、「がんばり」を見逃さずに、本気でほめましょう。



ワンポイントアドバイス

小学校

3・4年生

家庭学習

こんな内容・方法で

～家庭学習を始める前に～

- 学習前に、勉強する場所の整理整頓を。
- 学校からのプリント類を親に渡す習慣を。
- 今日の宿題を自分で確かめさせる。



宿題

子どもの力に合った内容や量になっているか、必要なときは、先生とも相談してみましょう。



日記

様子がよく分かるように、会話を入れて詳しく書くようアドバイスしましょう。読み直す習慣もつけさせましょう。

国語

音読

- 毎日1回は声に出して読みましょう。会話文は、気持ちを込めて読みましょう。

漢字

- 学校の漢字ドリルなどを活用して、繰り返し丁寧に練習しましょう。
- 正しい筆順で「はね、はらい、とめ」に気をつけて書きましょう。
- 国語辞典や漢字辞典の使い方に慣れるよう手元におき、常に使用しましょう。

読書

- いろいろな種類の本を選んで読みましょう。
- 家庭で「読書タイム」をつくり、家族全員で本に親しみましょう。

算数

計算

- 計算手順が正しく身につくよう、毎日少しずつ計算をしましょう。
- 筆算は位をそろえて書き、手順を確かめながら計算しましょう。
- 手順が長い計算も、集中して順番に計算していきましょう。

音楽

- 機会を見て、リコーダー（縦笛）の練習をしましょう。



長い休みにはこんなことを!

たっぷり時間をかけてふだんはできないことをやってみよう。

たとえば

- ・地域の行事や子ども会の活動などの学びの場に参加して、気づいたことや感じたことをまとめる。
- ・自分の街の自慢（自然、公園、施設など）を絵に描いたり、身の回りの材料で工作したりする。
- ・少し長めの本を読み通したり、植物や動物の成長を詳しく記録したりする。など

我が家のばあい

- 家族の一員として何か家事に参加させること。わが家ではトイレ掃除を一週間交代で二人の子に分担しました。
- よその子と比べてイライラするよりも、昨日のわが子と比べてほめましょう。

ちょっとひとこと

小学校で習う漢字は高校入試にまで出てくるといわれます。小学生のうちに身に付けておきたいことは、まず「漢字って嫌だなあ・面倒だなあ」という気持ちを乗り越えさせることです。

そのためには、毎日少しずつでも漢字練習をして、慣れさせることが大切です。

もし、担任の先生が学校で毎時間5分でも漢字練習の時間をとってくれたら、それは幸せなことですね。

次に、継続的に練習することです。

一度や二度がんばったからといって漢字ができるようにはなりません。毎日毎日こつこつと努力を繰り返すことで力となるのです。あせらず取り組みましょう。